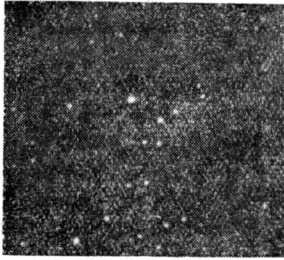


彗星だより

こゝに掲げる寫眞二葉は京都大學の中村要氏が60ミリ口径寫眞玉で撮つた彗星である。一は昨1925年の第十彗星ヴァンブースブルクで去る十一月十七日以来見えてゐるもの、他は本年の第二彗星プラスエイトで去る一月十六日に發見されたものである。



ヴァンブースブルク彗星

撮影は二月六日

曝露時間30分

彗星の位置はしし座テ星の西南で、

赤經11時2分

赤緯13度(北)

光度9等級

望遠鏡裡で、眼にも明瞭な頭部を有つて居り、又、¹約²度の尾を見せてゐる。寫眞では此等の事が眼視的觀察ほど明瞭な感じを興へない。此の寫眞では上から29ミリ、右から33ミリの光點が其れである。尾は右へ扇形に擴がり右隣の一微星を掩ふてゐる。

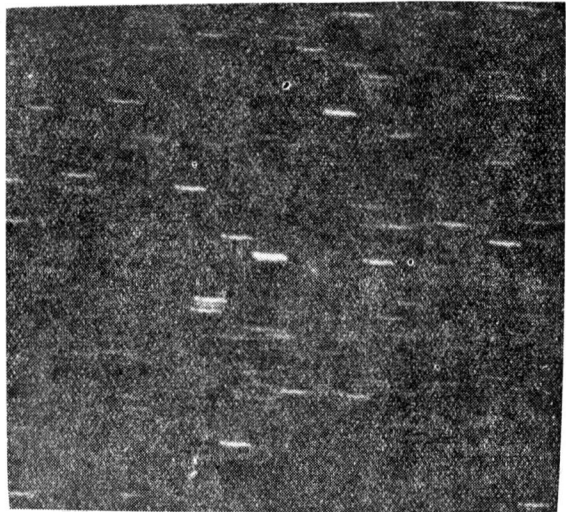
プラスエイト彗星

撮影二月十二日

曝露60分

彗星の位置はふたご星座で、第二プシ星の東である
光度9等。

撮影時間は可なり長く、60分で、其の間彗星を追ふため、他の總ての星は東西に線を引いて現はれてゐる。左から33ミリ、上から31ミリの白點が其れである彗星は直径約10分の圓形で中心の約13等級の核を取り圍く雲霧狀である。運動は極めて速い。



此等二枚の寫眞は、京都天文臺の33センチ大反射鏡附屬の6センチ口径焦體22センチのカメラで撮つた原板の畫を約七倍に擴大したものである。